

プロジェクトのポイント

- 我が国初のPFI手法によるスタジアム整備プロジェクト。
- 関門海峡を望む風光明媚なロケーションに加え、新幹線停車駅の小倉駅にも近い、「みんながつどい、にぎわいを生む、『街なかダイナミックスタジアム』」。
- 北九州市の上位計画を適切に反映し、まちづくり関係の複数の部局と連携し、計画。

施設概要

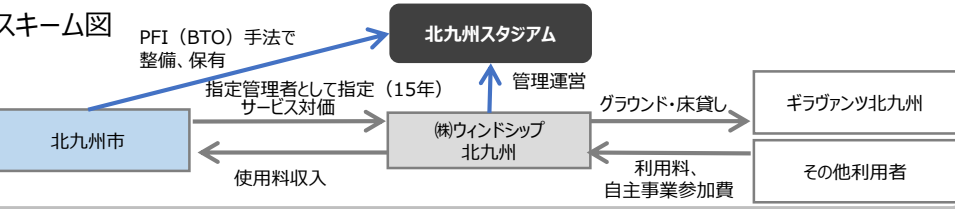
所在地／アクセス		福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目 JR小倉駅から徒歩7分		
面 積	敷地	約27,305㎡	延床	約26,398㎡
構 造	RC造、一部S造地上6階建			
観 客 席	15,300人			
付帯施設	VIPルーム	ビジネスラウンジ（3室） VIPラウンジ（2室） スカイボックス（4室）		
	飲食・物販	イベント時に飲食・物販ブースを設置		
	その他	控室、会議室、医務室 等		
	ホームチーム	ギラヴァンツ北九州（Jリーグ）		
ス ポ ー ツ 興 行	・ Jリーグ公式戦 年間17日程度 ・ ラグビーワールドカップ2019公認キャンプにおける代表公開練習 ・ サッカーU-24日本代表国際親善試合 等			
防災機能	なし			

施設写真



事業概要

事業スキーム	PFI（BTO）方式により施設を整備後、SPCが指定管理者として維持管理・運営を請け負う事業スキーム		
事業主体	北九州市		
所有者	土地：日本製鉄ほか 建物：北九州市		
整備方法	サービス購入型によるPFI（BTO）方式		
管理・運営方法	SPCである(株)ウインドシップ北九州（代表企業：(株)九電工、構成員：(株)奥村組、(株)日本施設協会、協力会社：美津濃(株)、(株)梓設計）が指定管理者として維持管理・運営		
事業期間	整備：2014年10月～2017年1月（2年4ヶ月） 運営：2017年2月～2032年3月（15年）		
事業収支	整備費	99億円（toto助成金30億円、市債69億円）	管理運営費 約103百万円（2019）
	利用料収入	約15百万円（2019）	その他収入 22百万円（ネーミングライツ）
行政の役割・支援	・ サービス購入料として市は年間約1億円を支出している。 ・ ネーミングライツを設定しており、(株)ミクニをスポンサー企業として選定した。期間は2020年2月1日～2023年1月31日までの3年間。（二期目）		



ミクニワールドスタジアム北九州（北九州スタジアム）＜参考ポイント＞

【参考ポイント①】顧客経験価値の向上

- ・ 関門海峡に望む**風光明媚なロケーション**。
- ・ 市内各所や全国各都市からの交通結節点となる新幹線停車駅の小倉駅に近接し、**アクセスが極めて良い**。
- ・ 「観る」施設としてイベントの実施等、様々な取り組みを実施している。
- ・ **試合がない日にもイベント等を実施**している。



【参考ポイント②】収益モデルの確立とプロフィットセンターへの変革

- ・ **費用便益分析や経済波及効果分析**等の効果分析を実施し、スタジアム整備による効果を定量的に算出している。

■ ミクニワールドスタジアム北九州による消費経済効果

約11.2億円

(財)九州経済調査協会の試算による（平成29年2月～平成30年1月）

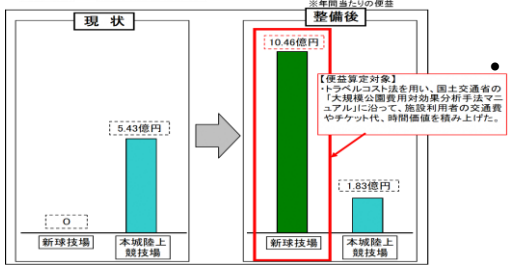
利用内容	経済効果 (円)
① Jリーグ公式戦	891,686,040
② 女子サッカー公式戦	576,833
③ ラグビー国際大会・トップリーグ等	121,641,036
④ 学生や社会人の大会等	56,130,479
⑤ スポーツ以外の利用	46,595,350
合 計	1,116,629,738

＜費用便益分析＞

- ・ スポーツを観戦することによる便益
(交通費+チケット代+娯楽価値)
- ・ 施設整備費 (設計費、監理費含む)
- ・ 維持管理費 (賃借料、大規模 修繕費含む)

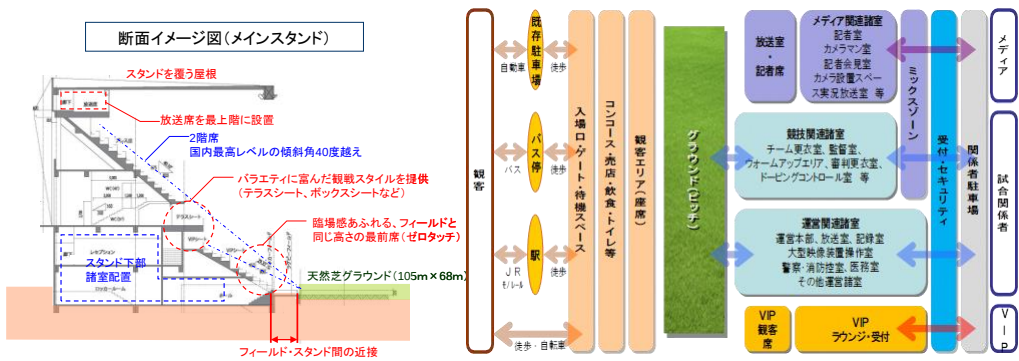
B
=

C
= 1.79



【参考ポイント③】多様な利用方法や用途の実装

- ・ **Jリーグ等からアドバイスを受け、施設仕様や設備に係る情報を計画に盛り込み、設計にも適切に反映している。**
- ・ 海外スタジアムの視察等を基に、**収益性の追求と各種収益向上施策を設計へ反映**している。
例：メインスタンドの3階部分を全てラウンジとして使用。
- ・ **景観アドバイザーの活用**やまちづくり関係の複数部局との連携体制を構築し、検討を実施。



【参考ポイント④】収益性の検証と設計等への反映

- ・ スタジアムについて、設計施工分離発注が主流の時代に、**設計施工を一括して発注した。**
- ・ **まちづくり関係の複数の部局との連携体制を構築して検討を行った。**
- ・ スタジアムが地域において果たす役割について十分な検討が行われている。
- ・ 本事業では、利用料金制が採用されておらず、民間事業者の自由度が高くない点が課題。今後は、民間事業者の自由度を一定程度高めるとともに、**民間事業者が運営リスクを一部負担することにより、民間の力を発揮させるような仕組みの検討が必要**である。